

事業所名

さんさんたいよう（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2024 年

7 月

1 日

法人（事業所）理念	子どもたち一人一人持っている可能性を大切に、それぞれの個性を育みながら、地域社会の中でその子らしく生活が送れることを目指しています。								
支援方針	小集団や親子での遊びを通して自分の思いを伝える力や相手の思いを受け止める力をつけ、友だちと過ごす楽しさを知り、人とつながりながら生活していけるよう支援します。								
営業時間	9 時	30 分	から	15 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	【生きていく力をつけよう】 ・スケジュールで1日の流れを知らせることで、見通しをもって活動に参加できるようにしていきます。次の活動に期待をもち、主体的に動けるようにしていきます。 ・基本的な生活動作をしていく中で、生活に必要な力を獲得していきます。							
	運動・感覚	【基礎的な動作を身につけ、健康な身体をつくろう】 ・大型マットを使った粗大運動や揺れ遊び、水の特性を生かして行う水泳療育等を通して、基礎体力を養います。その中で、身体動作の改善や筋力の強化、維持を図り体幹を整え、使いやすいつくっていきます。 ・感触遊び（粘土、砂、スライム等）、プールでの活動、ゲーム等を通して視覚、聴覚、触覚などの感覚を養います。							
	認知・行動	【豊かな個性を持ち、自己表現する喜びを味わおう】 ・ブロックや立体の造形物等を使った創作活動を通して、イメージ力を高めていきます。また、絵本の取り組みを通して、感性豊かな心を育みます。 ・ボードゲームやカードゲームなどを通して、自分で判断し考える力をつけていきます。 ・本人の困りごとと一緒に整理し、考え方や行動に働きかけることで自己理解や問題解決を目指していきます。							
	言語コミュニケーション	【自分の思いを表現しよう】 ・子どもの内面を汲み取り、その子に合った表現方法で相手に思いを伝えられるようにしていきます。その中で、人とやりとりする楽しさや誰かに伝えたい気持ちを高めていきます。 ・ことば遊びや文字を使ったワークを通して、適切な発音を獲得していけるようにしていきます。							
	人間関係社会性	【自分も友達も大好きになり、人とつながりながら生活しよう】 ・親子で療育に参加し、共感していく中でさらに親子関係を深めていきます。 ・ごっこ遊び、集団遊び、友だちとの話し合い等を通じて、友だちと一緒に活動する面白さや友だちとの関わり方を知り、社会生活や集団で必要とされる年齢に見合ったスキルが身につくようにしていきます。							
家族支援	定期的な面談日を設ける他、家庭や幼稚園、保育園等での困りごとがある場合は随時面談を行っています。また、家庭でできる支援方法や遊びなどを提供していきます。	移行支援	・移行先の相談 ・必要に応じて、通園する施設に訪問、電話などし、情報共有や相談等を行います。						
地域支援・地域連携	幼稚園、保育園などの教育機関の情報共有、自立支援協議会子ども部会への参加、情報共有、保健師など行政も含めた他機関との連携を行います。	職員の質の向上	・救急救命講習 ・外部研修会 ・療育終了後、情報や支援方法の共有。療育内容の見直し ・虐待防止、身体拘束適正化研修 ・内部研修						
主な行事等	・クッキング ・季節の行事								